

事務事業評価シート

24年度実施の事務事業 (25年度評価実施)	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input type="checkbox"/> 定型事業 <input type="checkbox"/> 投資的事業			
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計() <input type="checkbox"/> 企業会計()			財務会計上の短縮番号
第1期実施計画の 分類番号 / 事業番号 / 枝番号	1061	1	1	担当部課名 市民生活部地域活性課 担当課長名 東 勇輔

1 事務事業の概要

施策名	農園芸の振興
第1期実施計画の事業名	農業祭開催事業
財務会計上の事業名	農業祭開催事業
事業の対象【誰(何)を】	農業祭実行委員会(市内農業関係団体にて構成)
事業の手段【どうする(させる)ことで】	市内各地の農業生産物の品評会・即売会を行い、併せて関係資料を展示する。
事業の目的【どのような結果を得るか】	本市農業及び農産物について市民の関心・理解を深めると共に、栽培技術の向上を図る。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
事業内容の見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 実施(直近)平成23年度 <input type="checkbox"/> 未実施
※見直し内容を記入	負担金の減額
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠となる法令の条項までを記入	

2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区分	22年度(決算)		23年度(決算)		24年度(決算)		25年度(予算)		H24/H23
		事業費(千円)	700		650		650		650	
内訳	人件費(人・千円)	0.40	3,200	0.40	3,200	0.40	3,120	0.40	3,120	100.0%
	正職員	0.40	3,200	0.40	3,200	0.40	3,120	0.40	3,120	100.0%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0		0	-
支出合計 A		3,900		3,850		3,770		3,770		97.9%
財源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源	3,900		3,850		3,770		3,770		97.9%
受益者負担率 B÷A										-

指標値	区分	内容	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	目標値(H26)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
(1)	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	入場者数	名	10,000	11,000	9,000	10,000	11,000
(2)	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	市広報誌、チラシによるPR	回	4	4	4	4	4
(3)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
(4)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							

3 成果の達成状況

<input checked="" type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している <input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続 <input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止	選択の理由 市民のイベントとして定着している
(参考) 今後のアウトソーシング導入の可否	<input type="checkbox"/> 1 導入済 <input type="checkbox"/> 2 事業の全てが可能 <input type="checkbox"/> 3 事業の一部が可能 <input checked="" type="checkbox"/> 4 不可能	選択の理由 市は負担金の形で農業祭実行委員会に支出しているため、アウトソーシングの余地は無いものと考えられる。

4 担当部長が考える今後の方向性・見通し

評価を踏まえた課題と対策	(参考)昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策」
展示品評会及び即売会、関係資料の展示を行うことで、市民の池田市農業・農業生産物への理解を深めると共に、農産物の品質改善と栽培技術の向上に寄与している。全体的な予算枠の縮小によって企画が硬直化してしまわないよう、実行委員会でも充分協議の上事業を継続していく。	展示品評会及び即売会、関係資料の展示を行うことで、市民の池田市農業・農業生産物への理解を深めると共に、農産物の品質改善と栽培技術の向上に寄与している。品評会の出品者が固定化しつつあるので、募集広告のHP掲載や周知時期を前倒しすることで、出品者数・出品数の拡大に繋げる。

事務事業評価シート

24年度実施の事務事業 (25年度評価実施)	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input type="checkbox"/> 定型事業 <input type="checkbox"/> 投資的事業				
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計() <input type="checkbox"/> 企業会計()			財務会計上の短縮番号	4100
第1期実施計画の 分類番号 / 事業番号 / 枝番号	1061	1	2	担当部課名	市民生活部地域活性課
				担当課長名	東 勇輔

1 事務事業の概要

施策名	農園芸の振興				
第1期実施計画の事業名	さつき展開催事業				
財務会計上の事業名	さつき展開催事業				
事業の対象【誰(何)を】	東山皐月会				
事業の手段【どうする(させる)ことで】	さつきの展示紹介及び即売会を行う				
事業の目的【どのような結果を得るか】	市花である「さつきつつじ」を広く市民に知っていただくと共に、栽培技術の普及及び市民緑化の推進と地場産業のPRを目的とする。				
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)				
事業内容の見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 実施(直近)平成24年度 <input type="checkbox"/> 未実施				
※見直し内容を記入	委託料を増額				
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度				
※根拠となる法令の条項までを記入					

2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区分	22年度 (決算)		23年度 (決算)		24年度 (決算)		25年度 (予算)		H24/H23
	事業費(千円)		28		78		128		128	
人件費(人・千円)		0.15	1,200	0.15	1,200	0.15	1,170	0.15	1,170	100.0%
内訳	正職員	0.15	1,200	0.15	1,200	0.15	1,170	0.15	1,170	100.0%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0		0	-
支出合計 A			1,228		1,278		1,298		1,298	101.6%
財源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源		1,228		1,278		1,298		1,298	101.6%
受益者負担率 B÷A										-

指標値	区分	内 容	単位	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (予定)	目標値 (H26)
	(1)	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	入場者数	人	1,200	1,050	1,200	1,200
(2)	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	さつき盆栽出展数	点	56	53	51	51	55
(3)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
(4)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							

3 成果の達成状況

<input checked="" type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している <input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続 <input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止	選択の理由 市民イベントとして定着している
(参考) 今後のアウトソーシング導入の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 1 導入済 <input type="checkbox"/> 2 事業の全てが可能 <input type="checkbox"/> 3 事業の一部が可能 <input type="checkbox"/> 4 不可能	選択の理由 さつき展開催事業委託契約(東山皐月会)

4 担当部長が考える今後の方向性・見通し

評価を踏まえた課題と対策	(参考)昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策」
さつき盆栽の展示会や即売会を実施することで、市花である「さつきつつじ」と細河植木産業のPRに貢献している。近隣市町からの来場者も徐々に増えつつあり、事業継続により更なる来場者獲得を目指す。	さつき盆栽の展示会や即売会を実施することで、市花である「さつきつつじ」と細河植木産業のPRに貢献している。池田市民のみならず、近隣市町からの来場者を増やすため、HPを活用するなど、周知活動に注力する。

事務事業評価シート

24年度実施の事務事業 (25年度評価実施)	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input type="checkbox"/> 定型事業 <input type="checkbox"/> 投資的事業				
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計() <input type="checkbox"/> 企業会計()			財務会計上の短縮番号	4239
第1期実施計画の 分類番号 / 事業番号 / 枝番号	1061	1	3	担当部課名	市民生活部地域活性課
				担当課長名	東 勇輔

1 事務事業の概要

施策名	農園芸の振興
第1期実施計画の事業名	植木産業活性化事業
財務会計上の事業名	植木産業活性化事業
事業の対象【誰(何)を】	細河地域で植木生産を行う認定農業者の有志
事業の手段【どうする(させる)ことで】	細河植木見本園の維持管理及び見本園を活用した植木産業のPR活動
事業の目的【どのような結果を得るか】	植木産業の活性化並びに担い手の育成
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成15年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
事業内容の見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 実施(直近)平成24年度 <input type="checkbox"/> 未実施
※見直し内容を記入	平成23年度の見本園完成に伴い、委託業務内容の一部を改修工事から維持管理業務に切替
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠となる法令の条項までを記入	

2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区分	22年度 (決算)		23年度 (決算)		24年度 (決算)		25年度 (予算)		H24/H23
		事業費(千円)		338		332		351		
内訳	人件費(人・千円)	0.30	2,400	0.20	1,600	0.20	1,560	0.20	1,560	100.0%
	正職員	0.30	2,400	0.20	1,600	0.20	1,560	0.20	1,560	100.0%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0		0	-
支出合計 A			2,738		1,932		1,911		2,004	98.9%
財源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源		2,738		1,932		1,911		2,004	98.9%
受益者負担率 B÷A										-

指標値	区分	内 容	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	目標値 (H26)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
(1)	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	勉強会の回数	回	12	12	12	12	12
(2)	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	見本園イルミネーション	ヵ月	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5
(3)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
(4)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							

3 成果の達成状況

<input checked="" type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している <input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続 <input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止	選択の理由	見本園を活用しPR及び地場産業の活性化
(参考) 今後のアウトソーシング導入の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 1 導入済 <input type="checkbox"/> 2 事業の全てが可能 <input type="checkbox"/> 3 事業の一部が可能 <input type="checkbox"/> 4 不可能	選択の理由	植木産業活性化事業委託(細河植木塾22)

4 担当部長が考える今後の方向性・見通し

評価を踏まえた課題と対策	(参考)昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策」
植木見本園の適切な管理を行うと共に、各種イベントに参加するなど、細河植木産業の啓発・PR活動を精力的に行っている。また、月1回の勉強会では外部団体・業者などを招いて新しい販路や新商材についての研究が行われており、当事業の継続が細河植木産業の活性化につながると考えられる。	植木見本園の管理及び改修工事、植木産業の啓発・PR活動や研修活動により、細河地域の活性化に貢献している。今後は植木見本園を有効活用し、市内外への更なるPRが円滑に進むよう支援する。

事務事業評価シート

24年度実施の事務事業 (25年度評価実施)	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input type="checkbox"/> 定型事業 <input type="checkbox"/> 投資的事業				
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計() <input type="checkbox"/> 企業会計()			財務会計上の短縮番号	4115
第1期実施計画の 分類番号 / 事業番号 / 枝番号	1061	1	4	担当部課名	市民生活部地域活性課
				担当課長名	東 勇輔

1 事務事業の概要

施策名	農園芸の振興				
第1期実施計画の事業名	蔬菜立毛品評会支援事業				
財務会計上の事業名	蔬菜立毛品評会支援事業				
事業の対象【誰(何)を】	野菜生産農家				
事業の手段【どうする(させる)ことで】	池田市生産者組合が実施する野菜の圃場における立ち姿の品評会において、市長賞を授与				
事業の目的【どのような結果を得るか】	栽培技術の向上				
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(昭和47年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)				
事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施(直近)平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施				
※見直し内容を記入					
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度				
※根拠となる法令の条項までを記入					

2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区分	22年度 (決算)		23年度 (決算)		24年度 (決算)		25年度 (予算)		H24/H23
		事業費(千円)		0	4	0	4	0.0%		
人件費(人・千円)		0.05	400	0.05	400	0.05	390	0.05	390	100.0%
内訳	正職員	0.05	400	0.05	400	0.05	390	0.05	390	100.0%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0		0	-
支出合計 A			400		404		390		394	96.5%
財源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源		400		404		390		394	96.5%
受益者負担率 B÷A										-

指標値	区分	内 容	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	目標値 (H26)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
(1)	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	品評会参加点数	点	0	19	0	20	20
(2)	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	入賞者の表彰	点	0	1	0	1	1
(3)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
(4)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							

3 成果の達成状況

<input checked="" type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している <input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続 <input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止	選択の理由	栽培技術の向上及び生産者の意欲向上
(参考) 今後のアウトソーシング導入の可否	<input type="checkbox"/> 1 導入済 <input type="checkbox"/> 2 事業の全てが可能 <input type="checkbox"/> 3 事業の一部が可能 <input checked="" type="checkbox"/> 4 不可能	選択の理由	イベントの実施主体が市内の生産者団体であり、市は市長名で報償(市長賞)しているため、アウトソーシングの余地は無いものと考えられる。

4 担当部長が考える今後の方向性・見通し

評価を踏まえた課題と対策	(参考)昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策」
都市近郊の特性を活かした、新鮮・安心・安全・良質な農作物を供給するべく、生産技術を向上させるために池田市生産者組合が実施する品評会に市長名で報償。農家が第三者の評価に触れる数少ない機会であり、生産意欲の向上に繋がるため今後も事業を継続していく。	都市近郊の特性を活かした、新鮮・安心・安全・良質な農作物を供給するべく、生産技術を向上させるために池田市生産者組合が実施する品評会に市長名で報償。池田市内の生産者が年々減少する中で、生産意欲の向上を図るため、今後も事業を継続していく。

事務事業評価シート

24年度実施の事務事業 (25年度評価実施)	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input type="checkbox"/> 定型事業 <input type="checkbox"/> 投資的事業			
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計() <input type="checkbox"/> 企業会計()	財務会計上の短縮番号	4120	
第1期実施計画の 分類番号 / 事業番号 / 枝番号	1062	1	担当部課名	市民生活部地域活性課
				担当課長名

1 事務事業の概要

施策名	農園芸の振興			
第1期実施計画の事業名	農業経営支援事業			
財務会計上の事業名	農業経営支援事業			
事業の対象【誰(何)を】	市場等へ出荷する販売農家			
事業の手段【どうする(させる)ことで】	有機肥料、及び結束テープの購入費用助成を行う。			
事業の目的【どのような結果を得るか】	農地地力の保持、出荷の推進及び出荷野菜のPR及び規格統一を図り、新鮮で安全な地場野菜を推進する。			
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(昭和54年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)			
事業内容の見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 実施(直近)平成23年度 <input type="checkbox"/> 未実施			
※見直し内容を記入	補助金額の減額			
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度			
※根拠となる法令の条項までを記入	池田市農業振興事業補助金交付要綱			

2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区分	22年度 (決算)		23年度 (決算)		24年度 (決算)		25年度 (予算)		H24/H23
		事業費(千円)		700		698		686		
内訳	人件費(人・千円)	0.22	1,760	0.20	1,600	0.20	1,560	0.20	1,560	100.0%
	正職員	0.22	1,760	0.20	1,600	0.20	1,560	0.20	1,560	100.0%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0		0	-
支出合計 A			2,460		2,298		2,246		2,260	97.7%
財源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源		2,460		2,298		2,246		2,260	97.7%
受益者負担率 B÷A										-

指標値	区分	内 容	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	目標値 (H26)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
(1)	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	有機肥料等購入費助成額	千円	700	698	686	700	700
(2)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
(3)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
(4)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							

3 成果の達成状況

<input checked="" type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している <input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続 <input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止	選択の理由	有機農業推進のため
(参考) 今後のアウトソーシング導入の可否	<input type="checkbox"/> 1 導入済 <input type="checkbox"/> 2 事業の全てが可能 <input type="checkbox"/> 3 事業の一部が可能 <input checked="" type="checkbox"/> 4 不可能	選択の理由	市は補助金の形で各農業実行組合に対して支出しているため、アウトソーシングの余地が無いものと考えられる。

4 担当部長が考える今後の方向性・見通し

評価を踏まえた課題と対策	(参考)昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策」
有機肥料の購入助成を行うことで、土壌改良、地力の保持に対する支援を行うもので希望者も多い。有機野菜に対する消費者のニーズは拡大傾向にあり、今後も事業を継続することで安心・安全な野菜の出荷を支援する。	土壌改良、地力を保持するとともに、安心・安全な地場野菜の生産を支援する。健康志向による食への関心増加から、今後も有機肥料を利用した作物への需要が高まっていくことが予想されるが、農家の有機農業への関心・理解はまだまだ高いとはいえない状況なので、事業を継続することで有機農業導入への足がかりとする。

事務事業評価シート

24年度実施の事務事業 (25年度評価実施)	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input type="checkbox"/> 定型事業 <input type="checkbox"/> 投資的事業			
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計() <input type="checkbox"/> 企業会計()	財務会計上の短縮番号	4050	
第1期実施計画の 分類番号 / 事業番号 / 枝番号	1062	2	担当部課名	市民生活部地域活性課
				担当課長名

1 事務事業の概要

施策名	農園芸の振興			
第1期実施計画の事業名	生産調整推進対策事業(土壌改良)			
財務会計上の事業名	生産調整推進対策事業			
事業の対象【誰(何)を】	生産調整で休耕地を設ける農家の希望者			
事業の手段【どうする(させる)ことで】	ヒエ種(緑化用ソルゴー)を配布			
事業の目的【どのような結果を得るか】	地力の保持、土壌改良(休耕地の遊休農地化を予防)			
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 (平成 年度 ~) <input type="checkbox"/> 時限 (平成 年度~平成 年度)			
事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施 (直近)平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施			
※見直し内容を記入				
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度			
※根拠となる法令の条項までを記入				

2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区分	22年度 (決算)		23年度 (決算)		24年度 (決算)		25年度 (予算)		H24/H23
		事業費(千円)		19		19		32		
内訳	人件費(人・千円)	0.02	160	0.02	160	0.02	156	0.02	156	100.0%
	正職員	0.02	160	0.02	160	0.02	156	0.02	156	100.0%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0		0	-
支出合計 A			179		179		188		191	105.0%
財源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源		179		179		188		191	105.0%
受益者負担率 B÷A										-

指標値	区分	内 容	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	目標値 (H26)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
(1)	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	配布数	袋	35	34	57	60	60
(2)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
(3)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
(4)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							

3 成果の達成状況

<input checked="" type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している <input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続 <input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止	選択の理由	遊休農地発生を予防
(参考) 今後のアウトソーシング導入の可否	<input type="checkbox"/> 1 導入済 <input type="checkbox"/> 2 事業の全てが可能 <input type="checkbox"/> 3 事業の一部が可能 <input checked="" type="checkbox"/> 4 不可能	選択の理由	事業の性格による

4 担当部長が考える今後の方向性・見通し

評価を踏まえた課題と対策	(参考)昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策」
国の行う生産調整事業に併せて、ヒエ種(緑化用ソルゴー)を配布し、調整水田の遊休農地化を防ぐと共に、地力保持・土壌改良を支援する。事業費を精査しながら継続する。	

事務事業評価シート

24年度実施の事務事業 (25年度評価実施)	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input type="checkbox"/> 定型事業 <input type="checkbox"/> 投資的事業			
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計() <input type="checkbox"/> 企業会計()		財務会計上の短縮番号	
第1期実施計画の 分類番号 / 事業番号 / 枝番号	1062	3	担当部課名	市民生活部地域活性課
				担当課長名

1 事務事業の概要

施策名	農園芸の振興
第1期実施計画の事業名	鳥獣被害対策事業
財務会計上の事業名	鳥獣被害対策事業
事業の対象【誰(何)を】	市内農家及び大阪府猟友会池田支部
事業の手段【どうする(させる)ことで】	捕獲檻の購入・貸出、猟友会池田支部への助成
事業の目的【どのような結果を得るか】	植木、水稲、野菜など農作物に被害を及ぼしているシカ、イノシシ、カラス、アライグマ等の捕獲を支援し、被害の拡大や市街地への侵入を防止する。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
事業内容の見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 実施(直近)平成23年度 <input type="checkbox"/> 未実施
※見直し内容を記入	捕獲鳥獣の増加に伴い、猟友会池田支部への報償金を増額
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠となる法令の条項までを記入	池田市鳥獣被害防止計画、大阪府林業関係補助金交付要綱第3条

2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区分	22年度 (決算)		23年度 (決算)		24年度 (決算)		25年度 (予算)		H24/H23
		事業費(千円)		854		906		871		
内訳	人件費(人・千円)	0.50	4,000	0.40	3,200	0.40	3,120	0.40	3,120	100.0%
	正職員	0.50	4,000	0.40	3,200	0.40	3,120	0.40	3,120	100.0%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0		0	-
支出合計 A			4,854		4,106		3,991		4,202	97.2%
財源	国・府支出金		83		85		100		80	117.6%
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源		4,771		4,021		3,891		4,122	96.8%
受益者負担率 B÷A										-

指標値	区分	内 容	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	目標値 (H26)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
(1)	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	捕獲頭数(イノシシ、シカ、アライグマ)	頭	113	67	66	70	70
(2)	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	猟友会池田支部への報償金額	千円	380	470	470	470	470
(3)	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	シカ進入防止網の配布	枚	415	449	375	272	350
(4)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							

3 成果の達成状況

<input checked="" type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している <input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続 <input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止	選択の理由	大阪府全域で有害鳥獣被害が増加しているものの、池田市では現在の事業により、一定の被害防止効果が見られるため。
(参考) 今後のアウトソーシング導入の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 1 導入済 <input type="checkbox"/> 2 事業の全てが可能 <input type="checkbox"/> 3 事業の一部が可能 <input type="checkbox"/> 4 不可能	選択の理由	アライグマ搬送委託契約(いけだサンシー(株))

4 担当部長が考える今後の方向性・見通し

評価を踏まえた課題と対策	(参考)昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策」
植木・水稲・野菜・果樹などの農作物への被害を防ぐため、捕獲檻の貸し出しや猟友会への助成を行う。近年有害鳥獣による被害エリアが細河・五月山周辺から市街地にも拡大しつつあるため、猟友会池田支部との連携のもと対応していく。	植木・水稲・野菜・果樹などの農作物への被害を防ぐため、捕獲檻の貸し出しや猟友会への助成を行う。現在大阪府全域で鳥獣被害額・被害範囲が拡大傾向にあり、池田市においても今後被害が増加する恐れがある。被害を最小限に抑えるべく、今後も継続して防止対策事業を行っていく。

事務事業評価シート

24年度実施の事務事業 (25年度評価実施)	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input type="checkbox"/> 定型事業 <input type="checkbox"/> 投資的事業			
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計() <input type="checkbox"/> 企業会計()		財務会計上の短縮番号	
第1期実施計画の 分類番号 / 事業番号 / 枝番号	1062	4	担当部課名	市民生活部地域活性課
				担当課長名

1 事務事業の概要

施策名	農園芸の振興			
第1期実施計画の事業名	農業用施設管理事業			
財務会計上の事業名	農業用施設管理事業			
事業の対象【誰(何)を】	灌漑用水ポンプ等の農業用施設			
事業の手段【どうする(させる)ことで】	維持管理(修繕・電気料金支払)			
事業の目的【どのような結果を得るか】	安定した農業用水の確保を図る			
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(昭和48年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)			
事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施			
※見直し内容を記入				
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度			
※根拠となる法令の条項までを記入				
大阪府耕地事業補助金交付要綱、池田市農業振興事業補助金交付要綱他				

2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区分	22年度 (決算)		23年度 (決算)		24年度 (決算)		25年度 (予算)		H24/H23
		事業費(千円)		2,082	1,357	5,764	8,849	424.8%		
内訳	人件費(人・千円)	0.11	880	0.10	800	0.10	780	0.10	780	100.0%
	正職員	0.11	880	0.10	800	0.10	780	0.10	780	100.0%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0		0	-
支出合計 A		2,962	2,157	6,544	9,629	303.4%				
財源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源	372	88	545	7,101	619.3%				
	一般財源	2,590	2,069	5,999	2,528	289.9%				
受益者負担率 B÷A										-

指標値	区分	内 容	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	目標値 (H26)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
(1)	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	ポンプ等電気代	千円	1299	1293	1313	1630	1630
(2)	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	水利組合への指導	回	2	2	2	2	2
(3)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
(4)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							

3 成果の達成状況

<input checked="" type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している <input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続 <input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止	選択の理由 農業用施設の維持管理
(参考) 今後のアウトソーシング導入の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 1 導入済 <input type="checkbox"/> 2 事業の全てが可能 <input type="checkbox"/> 3 事業の一部が可能 <input type="checkbox"/> 4 不可能	選択の理由 灌漑用水ポンプ保守点検委託契約 (株)森川鑿泉工業所

4 担当部長が考える今後の方向性・見通し

評価を踏まえた課題と対策	(参考)昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策」
各水利組合と連携・協力し、適正な管理が行われている。引続きポンプや堰の修繕・改修工事について精査すると共に、適切な補助を行っていく。本年4月からの電気料金値上により、電気代が増加するため、使用期間についても水利組合と協議する。	各水利組合と連携・協力し適切な管理が行われている。しかしながら、ポンプや樋門、堰など、施設の老朽化が進んでいるため、今後修繕等の件数増加が予想される。修繕にあたっては各水利組合と充分協議をすると共に、農家に対して安定的な農業水の供給に努める。